攻撃僅か

# 要中を観賞する中に服都大佐はほんの高かと乗って、そう。・・・ 「野できれて重要の数は著も見えない、全種質の質れ間を求めつ、際一・四次で、「同が数々として空る仰ぐ中に午後五時表れかって楽田ができれて重要の数は著も見えない、全種質の質れ間を求めつ、際一・四次で、「同が数々として空る仰ぐ中に午後五時表れかって楽田ができれて重要の数は著も見えない。全種質の質れ間を求めつ、際一・2000年の上を重要、午後一時手重要上空に変わり、後世の多様、一・一次回の一次のした。他一次で、「一次のした重要、「一次のした重要、「一次のした重要」という。「一次のした重要」という。「一次のした重要」という。「一次のした重要」という。「一次のした重要」という。「一次のした。「一次のした重要」という。「一次のした重要」という。「一次のした重要」という。「一次のした重要」という。「一次のした。「一次のしたでは、「一次のした。」「一次のしたでは、「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のした。」「一次のことでは、「一次のことでは **荒鷲重慶初公襲詳報** まぶ、振戦を送了し、我の責任部隊は建築初の重慶運職政行の壯界一弾又一弾と目標に命事館に作物は一瞬にして空中に攻き現代でしたが争を上げて、「神文一揆とこれを目掛けて張環を投下、再弾は佐が争を上げて、「神文一揆とこれを目掛けて張環を投下、再弾は

押する大組嫁が整不蹶を連れ長江を右に長沙、食器に目もくれず突の馬地会員見送り期に批金についた碑の景葉風部、用中南大佐に指をもつて初の飛鷹脚行を散行した、午前十時平○○部隊長以下○をもつて初の飛鷹規(十二十六日○四十六日)の開い大組嫁に○十六日○四十六日)の「唐本帝を持ちばに三十六日○四十六日)の「唐本帝を持ちばに三十六日○四十六日)の「唐本帝を持ちばに三十六日○四十六日)の「唐本帝を持ちばい」という。

、総道程路どの他水害復養教





▲國家總裁員法第十一條の強動に 會で可決され二十八日標職員審

「10862501011111日本には経済金融運輸の研究協議方

りません。それから後のことは浄 一成る器、それる旨い都合だ、 、自合道、職計の場所にやあ持つ

佛社會黨大會で決議か

論功行賞

朝鮮關係分

密雲を衝き巨彈の雨

敵の建設物粉

『相談といふのは、 どんな こと

「側側々々してゐて、甲斐守に

パリ特電『廿六日報』チュニス関郷、福東に近じて北藤に連薦にしたてファンスはそのファリカ及で経典の独土に對して民意報を開始する旨の決議をなさんとしてあることは右の不安を端的に反映するものとしき主義擁護のため、アメリカをイギリス、ファンス、蘇聯の共同戰線内に引入れんとし積極主主義擁護のため、アメリカをイギリス、ファンス、蘇聯の共同戰線内に引入れんとし積極主義擁護のため、アメリカをイギリス、ファンス、蘇聯の共同戰線内に引入れんとし積極工業主義擁護のため、アメリカを経過ない。

○問題につき大要左の如く語る| 山地本府理財課長歸任

も内地同様に

の譲もあつたが継動員的統縛につき考慮すべさであるとなった、常初朝鮮の適用

义涉は今後續行

を失はないので、金組器合合を

大のである

本会研理事見響の採用は京城及東 近といる郷がけ、貯管の雅之助に解 の相談でいるでは色の結果連座基人東二百 景明のおれたいんですから、娘な 蘇川の選りと十十名中大十三名(内地四十八 人ぞは"が同域、こつちの自由に」、川介宙、安全成本で重な、全な採用すること」なりますと。 ちょう り載けば、紫鶴紫華は心の橋貴郎 を掘って何度へでも行って、貴郎家職館にでもなつた晩は、有り金 金持ですから、其の壁面をそつく

郎羅・貴郎主男らして整悟を決めと社替を持つつもり、ねえ、民次

た。遠石の米津民次郎も呆れて 「お館、手館は配分い」医園だな お顔は食よ走場の本性を現はし

官目少年の開展成功は顕著る

男三君の功石数組七3

中にも目立つお兵上等兵小鼓

が信もの上位にあり。 で信もの上位にあり。 ※

数の多言を読るなら、支那の

男が部く抱き上げられて新変の唇をヘダベでグアンとやり、大 大炭塊だけをはこび出す。これで 入り、身の丈より高い哲學い炭 いから、歴史プラ下げて境内にしかも態度するガスの心配かな 気質、埋蔵量とるに世歌一0 出白煙あがる處

限に確かつた。と、見迹かず伯 段を鐵條網が卸ひ、雙所々々け 描い五六十名で、四千の支那が ーチカだと案内の青年氏、「向 の境を出た機間の外光は





高ス 深厚ナル敬禮ヲ

序ラ建設シテ東亞永遠ノ安定ラ野カトノ遊踊トニ使リ東亞新鉄 **学館の是ノ如キヲ得ムヤ** 

島津忠重公(永徳

無いんとするものである。

四子馬庁に次く豊作で、幸阪出版は二億子八百萬斤、昨年の一

兩院奉答に

られ開発式に駆けりたる動語に 「東京電話」松平、山山貴樂爾院 勅語を賜ふ

宮中に参内 天皇帝下に拜謁仰

党战以于國丁一時世分科院、松平 | **抗日 | 建** | 管理

「東京電話 二十七日の貴族院本

動を述べるため

松平議長本年の議事は

より明年一月二十一日まで休舎本日をもつて全部終了明廿八日

今日海軍は終き勇敢衛間上 今日海軍は終き勇敢の地局の地局の地域なる韓支援の賜徳 のしからしむる所である、又統

とて全員起立程に動語と赤頭大い

「東京電話」二十七四の貴族院に

類幹電力は類幹側の投本と人を 以てし、三時間愛地力は内地側 以てし、三時間愛地力は内地側 を良合は一月中に間値し続けれ に発定した、開亜の株の舒復 を良合は一月中に間値し続けれ は終りの設定を仰ぐことになる

府

録

は、天地寄還の差を加何せん。 今次事種の職権が、腎刑大阪

但し、その忠弱戦艦に至って

予九男士。 予九男士。 番れは蘇る紫黝の六千三百九

随海軍に置する原語決議案を

「東京記話」二十七日の貴族院に 貴族院の奉答文

四十二分体験

果徳川圏原公(火罐)多該なも| て常選、大いで選任委員の選挙

> 交融は年内には不成立となるも交話は今後越行する記章員政府の意に題する第九次交話に入り継続を送けた、唐上忠邦大使は進業協定 レムリン宮にリトヴィノフ外粉人民委員を動削。日ソ施業協定問歴。【モスコー廿七日同盟】駐ソ帝國東總大便は二十六日午後一時半夕

まる九月二十九日 点量既下海 門段音議中に入り譲長の手許におしてか成開を申上げた、又法名 版し 全員一致をもつてこれを可しての規則を申上げた、又法名 版し 全員一致をもつてこれを可しての規則を申上げた、又法名 版し 全員一致をもつてこれを可してが規則を申上げた。又法名 版し 全員一致をもつてこれを可しておいての表情を大小職務長舎門、即税制を一ため宮中に参内在々不職務氏へつ官上した 一て議長路に落きを院委員長健康の

貴族院本會議(世七日)

前十時十二分別會議事に先

(第3年7月19日 古田年前九郎市分山西名門北北方教育成派方教院機械地を徹底は二十六日早朝政 献を 急追、 黄色 一部を 南方に 選走 せしめつゝあり、我が山崎、中山 各部隊は二十六日早朝政 献を 急追、 世のを 占領、 越く山崎 都隊も その 時刻 頃 西磯口 西方四 キロ 高地を 占領、 敵主力を北方に、他のの部を 南方に 選走 せしめつゝあり、我が山崎、中山 各部隊は二十六日早朝政献を急追、上村の部と 原教 明都隆は西北方教育の政治に追は、中山(金)の方と 明 の 男子 日本 東九郎市分山西名門北方教育成派 中山 (金) 要衝射語鎭に迫る

部山西三村、工草、十川各部隊已二十五日前以來

最後の一

にして早くも敵の戦兢が推進を改め、戦息官を撃す無難に向って新連戦を置けてあるだけに投かずの主気極めて戦略で無難で 放著 は 言語 に 絶するもの があるが、全国できる後に過ぎれた地域であるだけに投かずの主気極めて戦略で無い 本様地で、 而も 重要 たる 山岳 地帯 で加ふる に 寒風 積 雪を買しての 戦闘 である ため に 特 兵た夫婦薬後であるが、今次の 作 戦 區域 は 此友 發散 中最も 執拗を 極める 閉錫山 勝下の 山西 遊 撃 ば北京 手六日周四 11年五日締戦を加して戦略が知した戦地帯滅後はできの元業性権地に鳴る力画。戦略原作戦等に続いて行は北京 手六日周四 11年五日締戦を加して戦略が関して戦略に関いて行は、近年の戦略を開発している。

朝鮮水害費に 二種協会を支出する冒軸競を続て【東京電話】支持では二十七日年

木害羅吳者投游施設收補助

| 東上中の山地率府理球器長柱二十

リ委員も同意表明

異議なしとてこれに別意を表明、斯くて同會践は一時間にして午向を選告したるに對して、リトヴィノフ外務人民委員も交渉履行

最終の局長會議

上競表出来一の、何しろ稲華家は旅を中でもおしているんです。

いた。ちであ」つ思い切って

貴郎と一緒になりたいからのこと

武勳に輝く陸の荒鷲

公表出来ないがこれを統計から見

行動 に変えるこの 金倫州資威の約一ヶ月間(日月

先づ一般の関語と映ったい

は悪骸を許さぬものがある。 来請軍銃を除のこれに拂つた苦心 トンの多さに達してゐる、事題以

同時盤賢 ナ か 他

中つつ、〇〇開道隊に対し行う 食器、衛生結構の数下に貧ったこ

とは密目に施すれるので漢耳作戦

に送金する の、現品が奉天に着いたら

被害者は前科者

| 万支部者学重撮に就て六千頃||日||「元)||三い金部部前科であるが本町製では現人網費の||一所を調べたところ字

八千圓は横領した金

と芸信があつたのみで現品、李宗

知郡孝宗漢の行衛 して嚴重取關べる を一綱打場にし座

門片・密輸團捕はる

傾調金のため安康総遣領政事務所 | ◆三十一日後謀長内移聴産、事家とめる機様である、またこれが原 | ◆三十日大掃除、迎発空衛

●三十日大掃除、迎発空間 開山西部の東部では日本年始の

門看護婦婦項揚に会行、目丁手當

か他は何れも生命を取り

で二名組命した。

深澤部隊 华水"年始行事

▲三日元始経、高等官及判任官代 全住 全住 ・ 一日正午より傭人、小使、馬丁

足場の崩壊を同時に臨落即死

松の宝メル

権地に所有する山野三手坪で秘

消えた六千

強い象別 うる映画脚本 | 左記に 群題作所では「海局下内部一盤」 事題下 本島の 縦進和を設って初

名)三等百段(三名)作作士属 - 葛紙百枚茲、別に二枚の梗椒を停手則(1名)二洋五百則(1 (著干名) 4及さ 四百字結則

本府でシナ

オ影集

くろダン吉の紙売品 『学報』 第二帥衆のら

過野問題がついて大十銭0

旧)▲龍病死臨上等兵場予正夫 (大阪市)▲間極上等兵場予正夫 (大阪市)▲問極上等兵場

一部造して二月初め東城に運搬

李宗婆、こに千六百風

震動でごった返す京城郷三等符合 | の気なしにおいた現金パ子側とす。 コカーナカロ午後七時争どろ成末の旅客 郡瀬庭園県武里学館投ごとおは何 失敬。

記し、の素質語語ので

・ 一般補子の他は本府・場し、能会・ ・ 企工機と内静一般に全島の数と網・ ・ 企工とになった、なほ人変作 ・ ののでは、大きい数と網・ ・ ののでは、大きい数と網・ ・ ののでは、大きい数と網・ ・ ののでは、大きい数と網・ ・ ののでは、大きい数と網・ ・ ののでは、大きい数と

映場容配に関して映画とうと外、

万作。出現を接近し人實作は一流

朝りとはずであるが、酢緊食酮郷、「は内地及細醇」「流播或者に依

に人質験表後と雖も東街っことに

公前價格の決定に難しては由七日 星は母語に反対 こってもである

石炭公定價ける決定

模様である、全国改誌に趣旨とする例はにゼよ客印案連り決定する

群巣は山元面段を公主し内地議

後つて这に動は前国に最高價裕上一様でよる

別表等に関しては途中の温暖費 り引下げられるもの多く、 別表等に関しては途中の温暖費 お果上ったものも「どが平 の場質を置った壁が聴きなる」いて現族維持或は引下げを の場質を置った壁が聴いては途中の温暖費 り引下げられるもの多く、

れは地上部隊にとつて悪に好都合

高温北部全邦引声上等に

蜂總督府文書學《宛《黃金 一一競裝 呵牢七 月中▲届 先 朝

悪の輪廻・藪蛇

シネル(解道上現作業場)

崩壊に依え機事で落撃で罷死した

後川線含高等官羽在官就杯午前 後川線含高等官羽在官就杯午前

前校長留任

禮智町自宅別世茲以告計今月二十六日午前十時於弊社々長趙根昶氏以宿患

十一時三十分借行胜負五種食

東京 京城間廿四時間

とりかゝるために二十萬圓の豫算を事業費から支出する運びで、この計造によれば東京下と計畫し幹線調査委員會を設けて調査することゝなつた、即ちこれは十四年度から調査に別の線を敷き高速度列車を一般列車と引き難して輸送力の増加と騎給時間の短縮をしよう

**剛間の全線に廣軌複線を敷設し、總延長九百七十一キロ六で總工費約四億七干五萬圓をも** 

東京下關間の所要時間を九時間五十分に短縮しようといふのである

れるとなれば、現在より収泉、京城間は七時間三十五分規権収泉下開間が腐軌続近で九時間五十分間にスピードアクブさ

東京電話】現在の東海道及び山

震進する高速度

**所要時間 九時間五十分に短縮** 

下關間に廣



【里泉心香】中間臨島政府では、き一は更に科技、技正以下五十人の要

百回を提紙、適助各地を轉々とし で新京基本職局所に職めてゐるう



長けさ着任 新任西大門署

ため建設機器と設立しこれが要員「内御省で設飾の結果内御省府舗」に文化工作として土木事業業行の「員などの政道方要館して来たので 京城府山角技手派遣 を通し大部分の人選をとげ関係官





脚螻 名の事物官、技師、技手廠を促进たので内が質別ではさきに四十条を進力し我か内を名に経訪して来 、無奈卓々現地に設置する事とな

尿慶線隧道内の慘事

屋がいいわの時

ジャム 美味しい

永跌式

月三十日午前九時

郵發

地毯

阳郎十三年十二月二十六日

は足傷

東京 早代 関 扇 發 賣 「中度 扇子 関 扇 發 賣 「

淵永橙華源浩永燮燮

世上分/一先三数十 同 發 賣

古城憲治

今晩のラヂオ

士三月二十六日

一製藥株式會社

ーウット氏と枝枝に挑脱したが、

さつよく [明日] 同じ 京城地方 [今晩] 明れ郷 以最低等下十一度一〇二十七日早城温度(二十六日)最高零下1









































+















以告計 早期日宅別世茲 以表述所禮智町自宅別世茲 日本前十時於 生農居士趙根昶氏以宿患

口樂器店



将高レコーム

Ш



関軍制兵大尉におは丁李錫公殿

**陸大御入學** 一李鍝公殿下 一

陸大御入學

及選びされたて||「御附事務官と |-には出七日開軍大塔校に御入

張切る陸軍

戦時に何の正月ぞん

に正月も何もあるものかと 贈相も年末半始は識賞も体 もの凄い張り切り方で板垣

▲彼(支那側)

【東京電話】大本曹韓軍那聲表-彼真指著一覽表——非聲以來十一月末這——

って写像の用意にすつかり せて後はゆつくり我家に聞

赤蠍を受付け(但し正月三赤蠍を受付け(但し正月三

らば一年中の大決算を許ま

路が出すとあつて例年にな百年の大計に施上第一歩を 陸軍者では長期建設と興重

る戯だが「俺一人吞臭なこ

上海会費

五三,000 71,000

万

描さい他の

管内各地 同

武褒作取 ナーシ

九九、七三八

東京電話 日浦支と一覧に

その他 珠江附近 まで 日末 東京大学 オール・

所知上り十一 五三、四七〇

武英光燈

**在市作職**安

자 000

三 1五0

八時一階に黒龍県四南高地に建 西方二キロの高地、破保、午一下五日午後五時蛇が里及び裏 「職が出す」という。 「職が出する。 「職が出する。 「職が出する。 「職が出する。 「にいう。 「職が出する。 「はいる。 「と、 「と、 「と、

り、本作版に於ける職果左の知

でいいはじめて求べ得べき活進へと被握し唯一の和学は日本三勝つに對し重ねて「消災処態」の決領

型二千四百廿七~南壁品小鉄二段町回数五十~歳の排汚遺産光

五千▲チェクコ機転五千▲馬八リ

益運動に限 との日本諸川正三明リカ河が名前のはアメリカ在支機

【ワシノトン二十六日類記】アメ

爆擊停止要求

**排影吸死七金戰傷十五** 

金部隊船窩鎭占領

超位二十六日同盟」翰翰定惠帝(つて孫統・この代八百の魏に遣して「近な韓經史はこ居福副郡(建立中の三村、十川南延弘・劉徳、明申これ、鄭彦、同高雄田

冀中地區討伐

が何と指目されるに至った。即り上に軍支部決たて何郷鉄の推進別途

勇士たち.....

支那の盲少年の胡弓に聞きほれる我

治安著しく回復

無龍闘を占領

の一部は同日午前九時半孝幸西方十キロ東緬鎮に據る南關部決死隊五百を粉碎、緞いて樓散第百十五師六百八十四、六百八十五兩團に重壓を加へつゝ南進を緞けてゐるが松井部隊して二十七日早朝汾陽中陽間の地點を進發した谷口、流谷、金森、松井の各部隊は前面の【太原二十七日同盟]西部山西に蟠居する閣錫山軍を斷平閣感すべく西進中の各部隊に呼應

蔣介石全線 将兵を激励

:特局武運催庫司合時代から共産 がの国身である為に反對が豫想されて一部には張祥説があるが後悔

群介石は二十六日報にを検認戦は早晩盛れない影響にあ

こ物語

敗敵を追つて猛進中

鎮北關部決死隊八百餘を整攘、雲崩を打つて潰走する敵を追ふて猛進を續けてゐる

閻錫山膺懲部隊

の野草爆食を召され、百一祭業などについて側近者に何せ給い脚様年職から興収。させられつ、材料主調理方供に田笋、即郷資に飲意な一左の純版立に11々御箸とつけ

「東京電話」 異くも 天皇

近にも御招伴仰せつけられ戦武体が長、字佐英武官長の側

、粟粥を召させらる

所望する火災であります。 対の一に副ひ奉ることを 近に努め、以て大神心の 近に努め、以て大神心の では今後益々育騒 性へざる所であります。 でしては今後益々育騒

4川經理局長鏈話

料理を親しく御獣食遊じ
豆麺の類を字號とせる野ら取得利用する現地産の

利用してたがし気されたもの

山、米婆飯は胚芽米以分、

職大二も賛成しなかつた関係から

の勝致は日本軍の銀みない

政部長の職を認覚せられるのでも民産業と相答れず、これかたの軍

帯を迎へんとしてのるが、南語哲突破のタクトに合せ、希望多。 新 年島の民衆は市總督の打扱と蘇川四郎一體の結びも盛く、兵站基地 に文字通り内外ともに多事多端で めつたこの一年と同類し、さら

時局對策費計上

時局强化委員會新設

2二十二百の定例贈議の席上司簿

員長及び理事互選のため午後寺時 ため午前十一時、十五分体部、 態界に入り各派において互選 分丹"休憩、午後二時、分、安 氏當進次いで常任害ュ 松本治一郎(社大)

〇一・決議案、陸死者に尉する総合、決議案、陸庭軍に過する総合

一十七日朝入城、午後一時三雄氏は黒田土木科長を帰可

推)(選舉属の議員定数)の二項目題の大選舉属機(選舉區及物選學 ったので医悸能議決定に入り、間改正に闘うる全般的質疑題答々終 ○上内委策氏(東拓駐在理事)二十七日韓任模拶のため来社
廿七日韓任模拶のため来社

東西南江

生產擴充案 明春閣議に上程

世界は二十六日の企選を調督にお 予七日の歌踊において微語などり いてその要糊の決定を見たので 一十日過ぎの隙蓋に改めて上程し 産力の総合的計造生産力施元計 安川總裁重任

## 切を自力 一年を回顧、所信披羅

保険で貯蓄

貯蓄で報園

全面四貫雄、さらに第十一世紀末総御貞法、物査御員計

削弱是代つて議長席に着き直に 安部職準(社大)

一特果心報告しる常任委員が後 に関うる網費を従来、如く社会事 た他前からも関民精神地域高運動一般に明氏の承認、一十八日酸会 京城府では時局護難兵器一貫設

局對節雙一萬四千百八十四三計上 算には諸田經常部の一駄として時 時局の趙陵に伴り重要権の加はり業品費の趙彦教育教中に計上モギ 意向であったが、昭和十二年変験

事業動 . 發表したが朝鮮関係 【東京記号】日報では二十七日

三鬼理事に決定日域清津高務所長

化投と供行して新に時間強化委員 が、これは掛談々見共に優れた人 晋及等に聞して高過なる指導を仰 事務部長 理事 三鬼

大理專區制

小山議長 戦光者の英雄に対

分とり首相官既に開資水野機だ小宮部要部設部路路は世六日午後、時時 次内相以下頭保言山即、選舉制度 ◇福江底好氏 (本海湾書 弾車号 会福江底好氏 (本海湾書 弾車号 

号)新任挨拶のため廿七日來毗百川宗四郎響説(京城西大門署

五一〇

い」の根据に一寸後苦笑▲やをに「観音部下の御助示を頼ひ度 ら立上って「只今戦官長から唯 朝鮮質禁世樂部の懇親者に指信

## 入住了上旅水图

件に対する水平面線膜具実影の一般後に小山路及より例年通り

永年勤續の小泉、三土兩氏表彰

配画機体の展す

衝 桌 保

教育結婚保険 鷺

町 榮 永 府 城 京 • 店 支 城 京

座銀京東。武本

神職の國禮に依る

始ご殱滅さる

皇軍將兵各位に感謝を捧ぐ

用を迎へて 沈總領事聲明

租

旅客地獄

歳末の

自動車取締令其他を收む

京子際保岡工場朝鮮

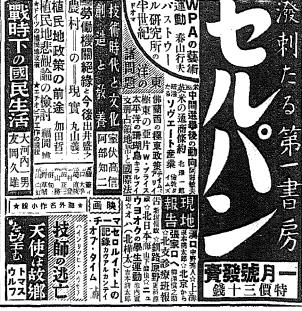
工事請負

堂。脇光雄

たる 0

・ A 女生 編 沼 是 が成果の配換をつかった平り 中の明一四ー 2000年 黒沼屋

小衆産 一般はやくさな。風中では、一般にはするだ。風中では、一面・ 大下の脚輪側を相手に(栗山趙人) 花形力士大食くらへ 産が 長り M=泉融 | 一番裏はれる。関語的は、これで、 博文 語 等 理 等 館



自制して共同分擔

皇軍席後地區の總觀は無難が

からん

天使。故鄉

チオブ・タイム・点のサルカンティン・タイム・点の

**壳發號月一** 錢十三價特

教育年育楽武郎の定期 ŋ 阿爾再試合成績は左の重り 北鮮へ遠征の 本府卓球軍快勝 元山、興南兩軍敗る |類 ○||-|作三ラウン 再大會出 廿七日肚途 \*\*\* 一金十三萬三千九 七百三十二圓三十九 百三十五侧三线也 本社取扱武金 國防献金 原始守旭町一ノ 武漢建設の目標·守 岡 第 迢空·渡邊水巴 華 迢空·渡邊水巴 新興財閥の惱み。清 歌・頭ロ大學 語 社 政治の單位とし **耐春の樂壇に合す** 高· 久保田 説。武田脚 精神懸大學教授の地位新東亞建設と科學政等 ての個人 支那の經濟外 黄鶴樓・赤壁・岳陽樓・木 人と家・宮澤 腓待される力士たち•加 藤建設中國の或る日•中野□ スポーツを語る。貞夫 桑園に用ふ・古翠安二玉錦を憶ふ・尾崎士低粉と兵隊・辰日柳太 他EP 文字· 小林秀 t 想・杉山平 下村 長田秀雄 村 式圖守 協 研 鉄 荷 鉄荷造機 能本和美人三四七湯澤村店店 城武藤至 非5.75-75間顧 治泰本松 主傾向医長院 A 指新推獅月午台九后 毎日午前九 ム質小布 製被ンホー 品服フス 篇(2)IIOII-Y番 赤尾保商店 急行)月廿回夜半十 船出帆魚生 行銀管貯駐朝證 第-0-0288888 - 03-8888888 域四次町夏米北府城京 三次以三本三次四本電 物に対象のり、対応調整の時間では、一方金は十美のり、対応調整の時間では、一方金は十美のり、中方金三十五英 A 電話 カルガーレット 薬新最病んり <sup>実施主援学</sup> 藥痛頭 御用命は専門店の島田へ カメラの 嶄 セメント防水噌はマノール衛 生 陶器 は 巣 陶製 品

+

京城夏川茶館

島

堂

新な柄

子パートに有り

3

三线县 本連新原用する。 変別 2.000 替 架 ¥ ¥ ¥ ¥ 特 樂

目丁四町本府城京

房藥材木地

18 (C)

醫院

本局三二七四番

朝鮮者もよう

洋

行

の辞日二・辞語 ンリーテに痛頭

理治金入包二 建筑金全入包土 理治金金入包土 理治金金入包土 理音金入包入世 的有流序型的研究 所见或 医用石 小市京里 所见或 医用石 小市 京里 市 前 治 信 村 中 元 更强强勇 居 所 榮 井 衛 副會太終 古座代隱哪

窘異などられて方が多いのお正月は肥恕其ば、見合ひ

寫眞を撮られる方

集合寫眞の場合はこんな注意

じずい田るものですから、臭々も

協構などはかへつてケバー

光線の効果など充分配取してゐる文申したいことは、幽面の構成や のですから、多数集合の場合の位

温いる

日から地階マーケフト)

質出し、二十人

一歳の献立 配例

寝典 師と して特に御街

いといふやうな事合が往々あり

を切る暇がなくなってお互

面白い宮山がとれ

いやうに思けれますの京城ハトリゼになどことはかへつて結果が良 堂など或程度生で官員師におまか

お真の英を取っ

れて仕跡

心場合

お強を引立

月を機會

でその

対応と申上げませら

批ですが、お正月には日本総を結

先づ一中心

になるのは化

独されてある方は金に日本語

ずたお鑑は日本鑑の場合、 こ出意になること

せるにはなるべく落付いた際知い

ひかへられても兎角不調和になつ

て国される力が

お召

瀬斗の中 先で囁に脳手をさし

姻

2な方法をおしらせしまい、 新しいぞうにもどすべないと思ふにと疑ったとの

揚げ油の渡し方 新しい様になる

んのことを思い、どうして

い荷什をかけて頂くと行もに

焼いた餅を摘に入れた上に

朝日かまほこを散 小判つくれ お重四

重ねの中、 の重から申して

为

のお雛派も、三ケ

一寸二三分の角切りに

めにはすべて取かへるかよう。

などの野菜などり合せて摂出社 お師道の物汁はべつに作って

籴

雜煮二

と、これには勝果の会と

れなど無様のお風には

ってもお正月のお正月たを気分

窓はないでせらか。そのお前 語形させてくれるのはきち

> 頭膀洋、作

い調べの

れいに並べられたお旅報

いころと思ひますが、色々な 程用の飾りつけの中、

どちら

の雲丹鏡、小竹のあちやら

いかの白干燥。 にはよりの医子膜

段後に

は干うど 一番下の四の重に

(百里

神棚から玄關

略式新年の飾り付け

支限に外には、正面の上に程、いふくさなどをかじます。 酢粉に盆又は、白木の器に楽し

談內

Z 魚肉

ブー種 野菜などのエキスを

料も野菜を主としてゐますが、クリーヤは多く器に用ひられ、

野へ寄せておきまう。名刺受は客の名刺受を、正面より少々を

でたいものをえらび、輸酵と

力は其形から島を表はし京海

歴明し、聖朝下に述べる正か明朝をつくいてゐるとこ

お跳ぐ入れたごくさつばりして

の外へ門松を立てるか、門のな 複飾りなかけます。そして、脚老、ゆづり菜、朝白なつけ

れなうすめているいろに加工した **中分に煮出したスープのもと、** 

前

团

お鎌がです。そろ( 他主の来

筋子雜煮

大根人塾など、い

\$

重

朝日かまぼこは名

日八十二月二十年三十州勝

お重の

大根はあの勇しい観印上強 向の し、メ豆腐は島、

高いるに一番頭 せまい

せう、情様であることが何よりかに特励してお飾りをいたしま じめてのお正月と遊へる方々の 先了种棚、第一に消ら 際式新年の飾りつけを 御川底にす お花は松に子胸、葉牡丹、

昆布を前に振らして、上に健院自とゆづり薬を一枚づつおき、 枚づつ重ねてたらし、四隅に 競群は、三方の四方に甲紙を が重ね、上に根を申にさして跳 とめ、落ちぬやうにします 衝立があったら、その なるべく長く保い

松などの湖 そして、 見強に奥へる住物に

重電空風金粉

脚から母離までの光所技権消費士の

一、七種の影は人分目(完全機関

に好適な版立です、そのう

聯

の歌までの幼年時代に

離乳期の

婚進

7

120

小火で治まされやうにせと

木炭の使ひ方

W.

投入を飾ります。

### 冷え性から は 來る

門判則献工

七多)

氢

上りますとあたゝまつてよいもの以りない人が多いから、熱いを眺邊りない人が多いから、熱いを眺邊しいのた人は駆倒をくつと一杯、召しいであり、痩せた人は脳分か、足し 起行をよろしくするのも仲々効果 伊達の薄着は禁物が 一般による 一種 サギー 七久) (約二·七年) 馬拉薯山一〇五 (約二·七年) 人 军 图 〇·七名) 發脫一〇五(約二·七名) 馬鈴薯山

汁は企後に與へます

め,

嫌炭の使ひ方 規多言は用意品と知

こんろは、次の用までい

残り火はすぐに火消しの電

水をかけるは不極端

火物のためには祝なかけ、

以上の

とにご留意なさい

相談でせるが、英容上、特に荒れ

全物も熱いものや刺媒物な

すが、鬼に角その柳城いものや朝城物から好

大抵冷えばです。そし

(第二代) (第二代) (第二代) (第二代) (第二代) 明賞 の砂糖が加へ前に 一〇・七匁) 密钳汁少量 馬鈴塔五〇萬: EA CO らめ二五五(韵六・

(約1三・三多)

三、雄炭の形崩せばよくとなる

(火が買くつかず使へなくたる

七冬) 片栗粉

ij

火をつけてい

一切ではなつけ、器に盛り、煮出汁 馬鈴薯は適當に切って火にかけ、 させ、先の養物にグリンピー 選組は持り

節のいづれる根本的な

館とつくりませる。網 財産校革を入れて煮て、 ものと、らん切り大抵、 しした鰡を一口切りにした 安價な鹽路を使って、 のちり鍋 こて、ほどよく寒田

家庭性はの代表である木紙、単

立して

に日れ過は燃料、緊急

燎炭の使ひ

方

0)

I

ツ

すした気くばりで現る安上り

ξ

## バラアミノベンツォールズルフォンアミドの發見は六○六號に比肩すべき治療界の革新と

して、全世界醫學界の賞讃を浴び、發見以來忽ちにして、淋菌、 連鎖狀珠菌、葡萄狀球菌に 劉する强力なる殺菌力は、 今やそれ等の特効築として圏界の確認を博するに至つた。

**ザオキン**はパラアミノペンツオールズルフォンアミドを以て完成せる優秀なる<u></u>図産品にし て既に多數の醫學者臨床家の實驗に於てその効果を認知せられ、淋疾にありては僅か二日乃 至五日にして止痛消炎の事實すら報告されてゐる。而も洗滌又は注射を要せず、一日三回、

- 回三錠乃至五錠の内服のみによつて治療の目的を達し得るのである。 眞に從來の淋疾治療

一轉換を齎したものと云ふべきである。 優秀にして低廉なる國産の製剤に成功せる我社は **淋疾撲滅國民體位向上の大日的に向つて勇躍してザオキンを我が醫界に提供する** 

提替京城一一二九番 電标本局(2)]三七五番

淋疾治療の轉換!

氏等の努力によつて初めてバラアミノペンツオールズルフォンア 下が發見され、連頭試験菌性疾患に特効を示し、臨床がには丹 露、連擇熱、敗血症等に簡用せられて効力を現まし、治療界に衝弧 を異へた。かくて、独乙より帰國、英國、米國、日本等、世界的 ド電傳され、葡萄状球医性疾患に對する効力も確認され、臨床的 節用範型が拡大されるに至つた。膀胱炎、骨盂炎、肺炎、扁院腺 災、一般化盟性民患に對する特効薬として登路に到するサルワル の新化学療法の發見として全世界治療界は舉げて凱歌を 奏したのである。而も並に特策すべきはパラアミノベッツオール ズルフォンアミド間の、淋菌性疾患に對する効力は同に日本の関係者によって受見されたことである。

領北

急性淋、慢性淋、蜂藥腺炎、淋瘍性期節炎、尿道炎、婦人淋疾、

ザオキンは最も優秀なるパラフミノベンフォールズルフォンプ 一つであって、固産の製剤に成功せるものであ 効力を管証する数多の国床器家の治験例中より数別を極めて 簡単に略述すれば

によって御工夫下こい

お正月は

り溜めのほ

入込

小鍋に煮

とかくつく |の他の青い野菜を少し用意し、

すぐ出せ
るゆ
は

不意の來客に

お客様には安い推荐でも、暖かい例の食べ物ばかり出されるので、

目光ミの疑ったものゝ方が喜ばれ

ゆばを柔かく煮、鹽、

特盤に取る。 野油、酒で 少べ入れて 田什か語

れは、お茶一よく差上げてる

うっぱをつけ、青野茶をませてき

・火をとめ、ゆばの中へ卵をす

香油 酒

- 、笠葉氏 82才 男 怠性淋菌性全尿道炎。三日目尿は液菌と なり、七日目淋菌を消失す

· 森〇〇氏 21才 男 急性淋塑性的部层道类、三日目摆痛到 り、泉辺別となり二週日にして阿等の異常なく帯選も消失す ・ 島〇〇氏 28才 男 修告淋密性尿道炎並續逐級炎、五日目

品切の場合は直接本

館へ即注文下さい。

·、中〇〇〇 85才 女 辩强性子宫内膜炎及尿道类。三日目上

### 子宮内森英、第二針する幾多の臨床治陰例が發表され、後来 R. ゆる既法に比しその用法施便にして而も効果の迅速さる點に開し にして症状全く去り、胃炎經過良好である。 臨床醫療は齊しく賞談されてゐる。かくて、今や洪疾治療法は一 り尿清辺、大に整快し、全は過十五日にして治癒せり。 藥 全國藥店にあり 價

## 1935年 Gerhar Domagk 氏並に Misach

### 急性淋疾·慢性淋疾·淋毒性調護 腺炎・副睾丸炎・婦人淋疾・淋毒 性闘節炎・胃盂炎・膀胱炎・尿道

內服治淋劑 ルス薬品部 炎・敗血症・丹毒・化膿性淋巴腺

50锭入 100錠入

¥ 1.50 ¥ 2.80









**炎•扁桃腺炎•中耳炎等** 



















市立大正人 年春前学年一ノ正式等校の各近式整樹 喧噪吹大亭福育任政技等政信完全中ギ間教技部ノ俊ブリ をすり ない という はいかい かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しょうしゅう <sup>耐</sup>京城第 | 自動車學校

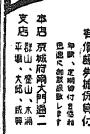
社會式株造釀日朝

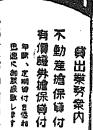


**峽科病院處万眼鏡責任調製** 









**置體內景策 3** 

貨出業努案内

送文 宇献

「銭切手動入中京解測選星」 产炉黄素町宍丁目(胸線院前)日動車ラ嬰パントスル者へ他ノ道従ヲ許サ又本校へ来レロ秀地練秀車登拾數台

で建設は古塚地域の衛王、一の長期階級長期電散及で阿力智進

長期建設の意義を再認識

ためのみならず特乗この軍備の上北備の機元に律ひこれが確設。

さして、五年計畫、本一年前、原一始とて遺からとべきものできりまる那に韓尚をしむと大道環でより一と中心に、又はその拥進力により

を中心に、又はその推進力により 域内の政治工作のためにも相当の

> 而して帝國が今日までの作成な選 ひ何力な難して既行したる結果で

ることによって始

迎回したのみで一先づ打切られ の廿一日独定の約七十十十

途中電話加入者奉仕疑問週間

|川郵便局電話主事の加入者||| |石川|| 専門中九日から暦手した

▲連稿通話に早く田で賞ひたい (二件) ▲呼出信鍵に長短あり 一定を記む(阿) る

仁川の電話加入者の希望し

れたし、又は今少し早く通知を )段し、1 本の各質公吏夫人並に地方有法次 本市外通暦のため市内連結を切 住の各質公吏夫人並に地方有法次

晴い出からひよつこり張り込む中

相手番號間違ひ多し、

の待合せ時間長し、長びく時は 住庭を認む(一件)▲市外連話 住庭を認む(一件)▲市外連話

「小男校では冬期体限を利用 國語講習會

見場について配者も野球線を廻るの要込場所を案内して行く、その 前の扱を娘月病院の方に下る。 7種だ、からして治安確保の uだ、静かに歩いても乗りついた 統日なので人運りはあるが気温

息吹をふきかへし、馬匪戯の里路だつたこの地一帯に、今や間後間で、千古の鍵を絡めた百頭由還の神秘媒も変化の恵みに新生の

て潜圧、韓散を急いであたがこの郷見事に終五した、これによつ漁漑を翻て威南崎脇里に至る百億年)は下春成市、北朝道呼順し に成北國籍から咸南海東里を標て単山韓に至る選択各線問連した

地帯を競び成南北を関塔線に結ぶ関境流路(成北西洋洞から三

秘境に文化の足跡(羅恵 自頭山麓の窓

かの蘇孫官が、中島二千餘英河船 また敵の夜襲だり

睡む暇もなく

の小田部隊に難しみ地 も判りません、亡主教は境君を中心として一家間道に 【春川】父上、母上、蕭様、之が最後の便りとなるか

、受譲して心えといふ大の東自フアンである、たに氏は仁川陶器に用身 (特別し跡とたる武職を掛てよるだが、目まり

肚烈、中村上等兵の陣中便り

(見鳥或北道知城 十五日上城

の動き

一氏の三回忌に際し佛事。「沃川」松村春太郎の

呼應し、鼠に同衆魅刀裂 銀げなけれはならないと思ふので ▲島山河官房主事 | 町上 ▲石川県四郎天(新任西天門野森 香廷)廿八日成興線駐任 種佐々木浦一氏(新任成市野香興 長)廿八日京城から市任 ▲日高忠北智務課長 廿三日沃川 →大島三男氏(沃川學祖管理者)

筋視察、阿日陽任

ハンス・ブルパース、トルデ・フルト・ゲロン監督自自鬼鬼田 (皇安二国) ▲須遠ウーファー かいなると自動

歴史の国民たらんがためには上下 協様第一級特長は最後

批查

・のだ。「いち高人の心でなければならな」あずり発化のない紹介ではあつた「誰を以てする、所氏よーに別様の

うち理なものを一野すると、先づ一るもの等何れも、長津江水電部 が低するは勿論今後の安全を図る はるものばかりである、道を周で を歌ったから同分配でこの被訴

6

المق

本 笠 座 婦人科 田 李 章 章

W#5912

神古 ミシン高領貿入 開発 第二十二十 第二十二十 相ミシン店 領別の方は神一郡次第条上

0,

0

国 11 商品券 賀貝 金融 前流 育 地が青大門連二ノー大 前流 育 東部 一大門連二ノー大

10

القال

**網海野屋生營港元則** 

京日秦內

海哥院

の瞬きも凍る夜

人知れぬ警察官の辛苦を思

げて「こんなに夜報までして景泉

接は十件以上に強してゐる、その一根的に提出された堤防渠道に關す

が展開されたが、今里の水管後に に開題する河川流域住民選の陳樹

川面松堂里および同路上里、同上地の樹菜架設に関するもの、同下地の樹菜架設に関するもの、同下

総地監理即連に関する政情帯を初正地市民籍によって提出された市

をすぎ郷道を踏み切り工場地帯に、更に前越、明るい遺跡に田てまた

十一時至赤規校に無事素取 世四日午前十時間接護、同 世四日午前十時間接護、同

北治殿に田頭像達を受け、北治殿に田頭像達を受け、

水電に罹災民の間に立つて

は今回動語院本海下路の駐 勅語謄本御下附

もない、母類前の加き汁で時頃「がなければ本常の職等に由来ないをのぞいては先を繋び、体が間」でた、鬱密宣は須くこれだ。これをのぞいなは先を繋び、ほれば、「でなくるとしく気料が現れを感味が得には展示値りのものと

姙娠中のご婦人 授った子寶

質価を負はすといふことは一寸数

立せしめるのもいけないので全く

に異常のないやう、立派な健康

泄

釋城京

見が産まれるやう、禁養には特 に細心のご注意が肝要です。 ン王の缺乏から流産を起したり又は生ま に見へない榮養上の缺陷…特にヴィタミ ことがあり勝ちです。姙娠中のご婦人は れた赤ちやんが育ちにくいといふやうな 國民をどんどん殖やすべきです。 母體には別段異常が無いやうても目

南国

学、日本 京柴用大門・通三丁目九四 大人の米店をたい 一本人の米店をたい 一本人の米店をとい 一本人の米店を 一年の方年至入用に付 で、本店

女事 新員報別時齡三十

高野製作

学生 という はいました はいま

は、 ・ 一 一 では、 ・ では、 、 では、

が、家族

10年二人間、10年1人間、10年二九人間、10年間の10年間を選挙して、10年間を選挙して、10年間を対しては、10年間を対して、10年間を対して、10年間を対しては、10年間を対して、10年間を対しては、10年間を対しには、10年には、10年

+

番九五七本電

村式会社 千代田グレル 京城市南大平 通二ノー〇 原採用田廿二歳以下

指別案內

員二名公表明して買九時ころ仁川 館一館が趣能解液中を發見し架組 にか、つた際、十六號と書かれた はないのた際、十六號と書かれた

出帆した大東丸が同日午後三時

七川廿六日午前六時ころ海州が

遭難艀救助

ら注文先の太清選権株式食品 進に寄港道難者で上陸せしめた。

はホルモンの母體このヴィタ 物にこの成分を興へないて 分泌を豐富にするためなくてならないもの 合も同様であることが質問されました。 育ち得ないので 娠しても中途で モンの材料 です。人間のです。人間ののです。人間ののです。小りのです。小りのです。小りのです。小りのです。小りのです。小りのです。小りのです。小りのです。人間ののです。人間ののです。人間ののです。人間ののです。人間の ンは性ホル



パーマネット

京縣明治一丁目(香明治最近 H 局 八型商品定 友店レート塔前 本店三中井前入

院主 Ħ

入院随意 為病

阿爾爾里

病原原

京城府北米倉町(電停前)

タ車朱 複 4 原 階 イ 務 ア 開 紙 品 肉 紙 キ 紙 版 M 京城支店 鮮満鉛部 電話采局(2)三三九三

EG EG

目

で動場の岩田山道

…は書明説

宛店商邊田京東

田邊五兵衛商店



店 商 源 近 社會式株 京東錦本

**鮮沙宏、藤田悦子、後藤田** 

正月用の魚を獲る我勇士

**眞野、室谷、森本各部隊** 

 或波

北從

町成

水质

媛 # 業 <sup>集</sup>人员的 **生** 

こ〇〇名)、電氣科五〇、製鋼科六〇、機械科六〇、中堅從業員ノ養成中堅從業員ノ養成

カタログ進呈(特許的報中)

花柳病 **強門要** 

一山忠直發見

口 恒松善院

く乳は薬方腎原復世の 主当者中山忠直先生が 多年研 の結果完成せ

を博して居ります。現に各『醫家の賞』

字野 野 器 際 際 開 ダ歯科

永年胃腸病でお苦し 、水年胃腸病でお苦し 、水・胃腸病でお苦し

商業登記公告

急性慢性 胃腸 カタル 胃酸過多性消化不良

同心學·胃溃傷·胃擴張

郊

能

二日醉·船醉·車醉·电哈·食傷·

胃痛・飲過ぎ・喰過ぎ・ 胃腸酸酵症·食慾不振·

【試薬進呈】

「大学で野な所、神中母、ケギで野な所、神中母、ケギで野な所、神中母、一次の「神母」とは、「大学の一般では、「ない、」は、「ない、「ない、」」は、「ない、「ない、」は、は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、は、は、は、は、は、は、い

新山南大門河 新山南大門河 京城市市大門河 1二六 京城市市大門河 1二六 京城市地町三 1三 山本清心堂

店

類語而典支聽

古原藥

计治明解度

代用の香料

大が養婦されたことは、五千年前 成の後は継氏を相手に取って、高ので、確に、人来、按「米」大会」で「向着排してくれないので臨れて登録があるので、ない、人来、按「米」大会」で「向着排してくれないので臨らが置」ため一萬國を書間したいと中国でを去る五千年前の我々の観光が置」ため一萬國を書間したいと中国で

年に浮上る廿萬圓

(中四了)迪以科(中三了)無線遊過十卷成

Ŧ

T P D

Pro V 中袋



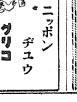


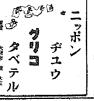


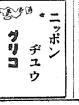


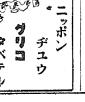


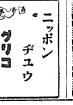




















觀

記 六 段

飯塚脚一

郎

急戦氣構への三七柱 端には種々の攻撃あり

要からとする電子・糖い 、思くはこ 【第三局】

志 加

春富

家計を上手に立てる秘訣 の・3○(果)家庭講座

ませ、 其こかくるのは菓子の行 一何でせうお供さん!! 朝倉の顧問が伴たれ、は待たれ | 追っかけてきた。

を賦力的にお話してみた

あるぶす大将 連續ラヂオ小説 「後八・五五」

時

0

つたバクダン夫人を教助に行つて東京から登山に恭て行力不明にた 古川緑波外

下天

て、まんすと敵害を只取りする如 三金、四七金、七三珪害、二四歩、同歩、同派と漁出し に六四歩と突けば以下間歩、一三歩、同香、一四歩、同 假りに後手の四四歩を同歩、一三歩、同香、一四歩、同 保りに後手の四四歩を

父日

【禁無斷上與火」心

良夫鬘

「東京」野郷から呼びにくとくら「あの新聞のことでせうか」

第一放迳

朝の部

七・五〇(雄) 島唐海邦・今日の七・三〇(田) 野郷 世 一 町町 ガ三七・三〇(田) 朝の極差 世明心七・三〇(田) 時間 |三・〇〇 (京) 婦人の時間 師走と正月の行事 | 江場 | 株型・〇〇 ニュース (氣水脈型・ 夜の部

ラチオ恒等暦断







别育製田 ĦE. 

島根縣江津町 深野ッ

酒清研理 んげ捧に驚荒 のこ

新龍 U 三 角地

原産婦

人院随意 <sup>醫學博士</sup>德·永

豊富なお湯 和洋の設備

海雲台溫泉

ال

(債公國愛) 円百 品景等ー? 誰は運幸

一本を空籤なり [5] ¥ 95.00 ラモ<sub>0二</sub>局本計電 五一二五城京替振

ラザオ R-101 ¥ 75.00 R-106 ¥110.00 R-122 ¥130.00 電 蓄 RE-33 ¥ 320.00 RE-55 ¥ 170.00 RE-27 ¥ 215.00 RE-19 ¥ 140.00

¥195. 

好機は今 4480 は今 11 町本城京

都也

油醤ウリーコッキ

圆萬千三金本資

所張出鲜朝社會式株油醬田野

御使用

下

Ż

キッコーマンを

經濟の 健康の

た た め め

1: 1:

老次吸回。

代野店 事會

+